

アジア好利回り リート・ファンド

【運用報告書(全体版)】

第18作成期 (2020年3月13日から2020年9月14日まで)

第 103 期 / 第 104 期 / 第 105 期
決算日2020年4月13日 決算日2020年5月12日 決算日2020年6月12日

第 106 期 / 第 107 期 / 第 108 期
決算日2020年7月13日 決算日2020年8月12日 決算日2020年9月14日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2011年9月30日から2025年9月12日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス) 日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建の短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

アジア好利回りリート・ファンド

■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
第14 作成期		円	円	%	%	%	百万円
	79期 (2018年4月12日)	7,145	90	1.2	0.0	98.3	205,325
	80期 (2018年5月14日)	7,138	90	1.2	0.0	99.1	203,086
	81期 (2018年6月12日)	7,124	90	1.1	0.0	99.3	200,670
	82期 (2018年7月12日)	7,093	90	0.8	0.0	98.7	198,030
	83期 (2018年8月13日)	7,005	90	0.0	0.0	98.7	192,262
第15 作成期	84期 (2018年9月12日)	6,903	90	△ 0.2	0.0	99.0	189,013
	85期 (2018年10月12日)	6,606	60	△ 3.4	0.0	98.0	180,462
	86期 (2018年11月12日)	6,760	60	3.2	0.0	99.0	180,082
	87期 (2018年12月12日)	6,864	60	2.4	0.0	98.1	178,115
	88期 (2019年1月15日)	6,707	60	△ 1.4	0.0	98.3	170,892
	89期 (2019年2月12日)	7,042	60	5.9	0.0	97.2	175,768
第16 作成期	90期 (2019年3月12日)	7,166	60	2.6	0.0	98.5	170,717
	91期 (2019年4月12日)	7,316	60	2.9	0.0	98.1	171,315
	92期 (2019年5月13日)	7,121	40	△ 2.1	0.0	97.0	165,204
	93期 (2019年6月12日)	7,367	40	4.0	0.0	97.4	164,459
	94期 (2019年7月12日)	7,630	40	4.1	0.0	98.2	163,653
	95期 (2019年8月13日)	7,118	40	△ 6.2	0.0	98.3	150,996
第17 作成期	96期 (2019年9月12日)	7,181	40	1.4	0.0	98.0	152,439
	97期 (2019年10月15日)	7,271	40	1.8	0.0	98.1	154,483
	98期 (2019年11月12日)	7,216	40	△ 0.2	0.0	96.7	152,658
	99期 (2019年12月12日)	7,183	40	0.1	0.0	98.2	152,650
	100期 (2020年1月14日)	7,480	40	4.7	0.0	97.6	158,473
	101期 (2020年2月12日)	7,412	40	△ 0.4	0.0	97.9	154,218
第18 作成期	102期 (2020年3月12日)	6,566	40	△ 10.9	0.0	98.1	135,355
	103期 (2020年4月13日)	5,556	40	△ 14.8	0.0	96.8	113,539
	104期 (2020年5月12日)	5,703	40	3.4	0.0	98.1	116,531
	105期 (2020年6月12日)	6,125	40	8.1	0.0	98.3	124,920
	106期 (2020年7月13日)	6,091	40	0.1	0.0	98.2	123,470
	107期 (2020年8月12日)	6,368	40	5.2	0.0	98.1	127,196
	108期 (2020年9月14日)	6,440	40	1.8	0.0	98.4	126,555

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		円	騰 落 率		
第103期	(期 首) 2020年3月12日	6,566	—	0.0	98.1
	3月末	5,178	△21.1	0.0	98.5
	(期 末) 2020年4月13日	5,596	△14.8	0.0	96.8
第104期	(期 首) 2020年4月13日	5,556	—	0.0	96.8
	4月末	5,590	0.6	0.0	95.8
	(期 末) 2020年5月12日	5,743	3.4	0.0	98.1
第105期	(期 首) 2020年5月12日	5,703	—	0.0	98.1
	5月末	5,880	3.1	0.0	98.1
	(期 末) 2020年6月12日	6,165	8.1	0.0	98.3
第106期	(期 首) 2020年6月12日	6,125	—	0.0	98.3
	6月末	6,046	△ 1.3	0.0	97.1
	(期 末) 2020年7月13日	6,131	0.1	0.0	98.2
第107期	(期 首) 2020年7月13日	6,091	—	0.0	98.2
	7月末	6,265	2.9	0.0	97.4
	(期 末) 2020年8月12日	6,408	5.2	0.0	98.1
第108期	(期 首) 2020年8月12日	6,368	—	0.0	98.1
	8月末	6,445	1.2	0.0	98.4
	(期 末) 2020年9月14日	6,480	1.8	0.0	98.4

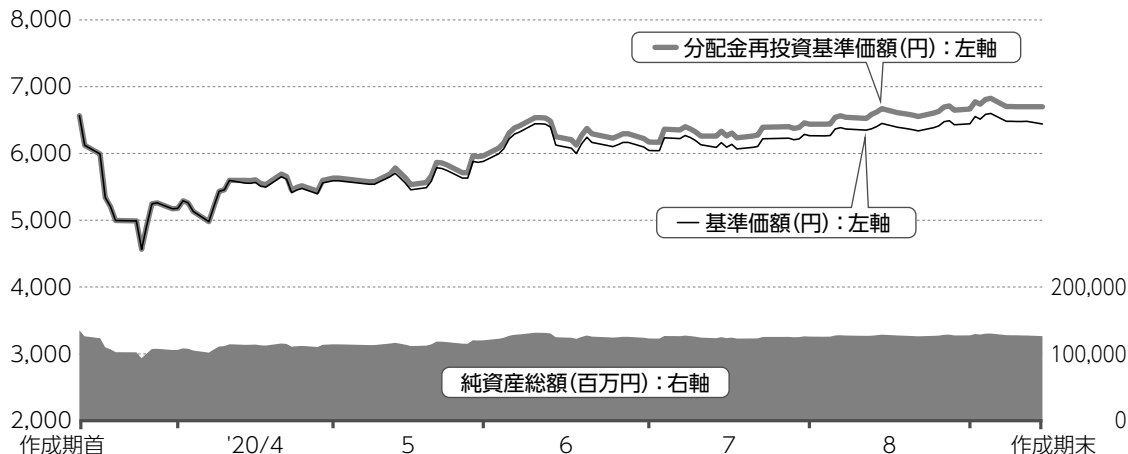
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,566円
作成期末	6,680円 (当作成期分配金240円(税引前)込み)
騰落率	+2.1% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア各国・地域(オセアニアを含みます。)の取引所に上場している不動産投資信託(リート)等に投資しました。

なお、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行っていません。

上昇要因

- 市場の落ち着きを受け、アジア・オセアニア通貨が上昇したこと

下落要因

- 新型コロナウイルスに対する懸念から、アジア・オセアニアリート市場が下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	外国リート	98.4%
マネー・マーケット・マザーファンド	短期金融資産	0.0%

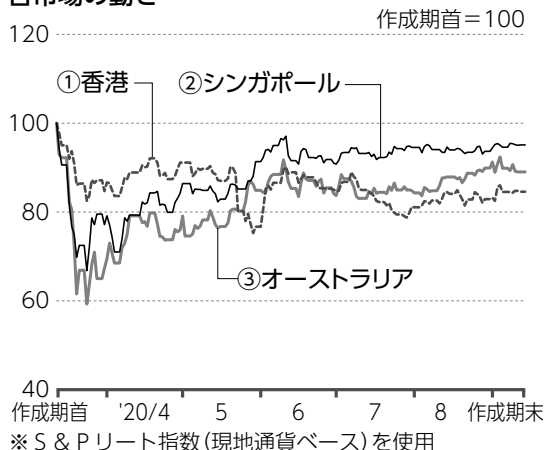
※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

アジア・オセアニアリート市場は、香港、シンガポール、オーストラリア、全ての市場が下落しました。為替市場では、香港ドル、シンガポールドル、オーストラリアドルが対円で上昇しました。

アジア・オセアニアリート市場

各市場の動き



新型コロナウイルスの感染拡大により、アジア・オセアニアリート市場は作成期初から3月下旬にかけて大きく下落しました。その後の動きは各市場でまちまちとなりました。セクター別では、高成長が期待される物流施設やデータセンター等の産業施設リートが好まれる一方で、新型コロナウイルスの影響が懸念される商業施設リート、オフィスリート、ホテルリートは軟調に推移するなど、各国とも概ね同様の物色傾向となりました。

①香港リート市場(15.4%下落)

香港リートは、香港民主化デモを背景にすでに下落していたこともあり、3月の下落局面での下落幅は限定的でした。4月に入り、いったんは反発したものの、5月中旬から下旬にかけて、中国において香港国家安全法案の制定が打ち出されたことで中国からの政治的圧力が強まること懸念され、再度大きく下落しました(同法案は6月末に成立しました)。その後は、国家安全法案導入を巡る不透明感の後退から6月上旬にかけて上昇しました。6月中旬から作成期末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、政府が外出規制等を再度厳格化したことが重石となる局面もありましたが、概ね横ばい推移となりました。

アジア好利回りリート・ファンド

②シンガポールリート市場(4.9%下落)

シンガポールリートは、3月に大幅下落した後、世界的に金融緩和政策が強化される中、他国に比べ相対的に高い利回りや、政府による新型コロナウイルス対策が厳格に行われていたこと等から、4月から作成期末まで底堅く推移しました。

③オーストラリアリート市場(11.0%下落)

オーストラリアリートは、商業施設リートが大きな割合を占めていることもあり、3月は大きく下落しました。4月以降は、RBA(オーストラリア準備銀行)の低金利政策継続が下支えし、底堅く推移しました。作成期末にかけては、メルボルンを州都とするビクトリア州で再度都市封鎖が行われ、景気回復への見方が一部後退したものの、Eコマース(電子商取引)需要に恩恵を受ける物流施設リートや政府の住宅向け財政政策に恩恵を受ける住宅事業を手掛けるリート等が強く選好され、堅調に推移しました。

為替市場

	作成期首 (円)	作成期末 (円)	円安/円高
香港ドル・円	13.46	13.70	円安
シンガポールドル・円	74.96	77.65	円安
オーストラリアドル・円	67.72	77.26	円安

アジア・オセアニア通貨は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けたリスク回避的な動きから、米ドルと連動する香港ドルを除いて、3月は円高で推移しました。4月以降は、各国の景気回復スピードや金融政策、長期金利の動向等からまちまちの動きとなりました。香港ドルは、新型コロナウイルスによる内需の弱含みや米中対立等の政治的不透明感から

軟調に推移しました。オーストラリアドルは米国との長期金利差が拡大したことなどを背景に米ドルや円に対して底堅く推移しました。シンガポールドルもオーストラリアドルと同様に概ね堅調に推移しました。

ポートフォリオについて(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

当ファンド

「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」および「マネー・マー

ケット・マザーファンド]を主要投資対象とし、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」の高位組入れを維持しました。

SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)

市場動向を注視しながら、個別銘柄の流動性に配慮して慎重に売買を進め、組入比率は高位を保ちました。作成期末の組入銘柄数は30銘柄で、銘柄分散効果でパフォーマンスの安定を図りつつ、個別銘柄を総合的に勘案したウェイト付けで、比較的高いパフォーマンスの享受を狙いました。

●国別投資行動

(香港)

香港内外での新型コロナウイルスの動向を注視しました。香港国家安全法案に対するデモの影響は以前に比べ軽微となった一方で、政府による新型コロナウイルス感染抑制のための外出規制等が小売売上等、国内景気にマイナスとなりました。そのような中、最大手の商業施設リートは、日用品販売を主力とするテナントが多いことから相対的には良好な業績となりました。今後も豊富な資金力を活用し、テナントへの支援策の拡充、海外での物件取得、株主還元の充実等により、安定した評価を維持すると考えています。

(シンガポール)

シンガポール内外の景気動向および新型コロナウイルスの影響を注視しながら選別的な投資を行いました。アジアにおけるEコマース需要の拡大を取り込む産業施設リートを引き続き高く評価しました。また、政府の徹底した感染対策から他国に比べ早期に景気が回復すると予想し、作成期末には商業施設への投資比率を高めました。

(オーストラリア)

銘柄ごとの事業環境を勘案して選別的な投資を行いました。世界的なEコマース市場の需要拡大が見込める物流施設事業や低金利環境下において成長が期待できるファンド事業等を手掛ける銘柄を評価しました。また、住宅向けの財政支援政策に恩恵を受ける住宅事業を手掛ける銘柄への投資比率を高めました。

(その他)

マクロ経済や金融政策の動向、個別リートの中期的な成長性などに基づき、マレーシア、タイ、インドへの投資を行いました。

新型コロナウイルス禍においても、安定的な事業成長が期待できる銘柄(オーストラリアの物流施設リート、シンガポールの産業施設リート)に着目しました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大による影響を注視し、商業施設リートへのウェイトを引き下げました。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

当作成期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ40円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	(0.715%)	(0.697%)	(0.649%)	(0.652%)	(0.624%)	(0.617%)
当期の収益	17	21	21	15	21	20
当期の収益以外	22	18	18	24	18	19
翌期繰越分配対象額	950	932	914	890	872	853

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。引き続き「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」の高位組入れを維持します。

SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)

ファンドの基本コンセプトである、「収益の成長性に加え、配当利回りなどのバリュエーション(投資価値評価)に着目した運用」を行ってまいります。また、外部環境にも留意しながら、引き続き個別銘柄選択を重視し、ファンドを特徴づける魅力的な銘柄群に投資する方針です。

ファンダメンタルズ(基礎的条件)からのセクター評価に加えて、新型コロナウイルスの

感染状況と政府の対応を勘案した国別評価を採り入れた投資を行います。シンガポールは、政府の徹底した感染対策から新規感染者数の増加を抑制しています。一方、香港は、8月28日に政府がソーシャル・ディスタンス政策を緩和しているものの、先行きの感染者数の動向は引き続き不透明とみています。

最後に、株式市場でESG(環境、社会、ガバナンス)の重要性がさらに高まっていることを踏まえ、引き続き「リートを含めアジア・オセアニアリートにおいてESGリサーチを行っていきます。パフォーマンスへの貢献の観点からESG、とりわけG(ガバナンス、企業統治)について深掘りしていく所存です。

マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

(2020年9月16日現在)

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	34円	0.577%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
(投信会社)	(8)	(0.140)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(25)	(0.420)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.031	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(2)	(0.031)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	36	0.609	

期中の平均基準価額は5,900円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

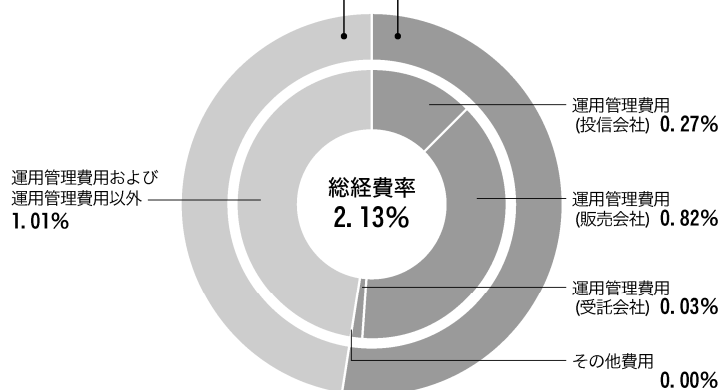
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率 (年率換算)

■ 投資先ファンドの費用 1.01% ■ 当ファンドの費用 1.12%



総経費率(■+■)	2.13%
■ 当ファンドの費用の比率	1.12%
■ 投資先ファンドの費用の比率	1.01%

アジア好利回りリート・ファンド

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.13%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	口 1,137,331,565 (1,792,098,474)	千円 1,629,000 (2,693,581)	口 8,349,487,833	千円 12,494,802
合 計		1,137,331,565 (1,792,098,474)	1,629,000 (2,693,581)	8,349,487,833	12,494,802

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年3月13日から2020年9月14日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年3月13日から2020年9月14日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

アジア好利回りリート・ファンド

■ 組入れ資産の明細(2020年9月14日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	□ 79,857,341,674	□ 74,437,283,880	千円 124,593,125	% 98.4
合計	79,857,341,674	74,437,283,880	124,593,125	98.4

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 100

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は77,141千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2020年9月14日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 124,593,125	% 97.3
マネー・マーケット・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	3,476,192	2.7
投資信託財産総額	128,069,417	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

アジア好利回りリート・ファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月13日) (2020年5月12日) (2020年6月12日) (2020年7月13日) (2020年8月12日) (2020年9月14日)

項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
(A) 資産	114,624,103,807円	117,514,972,901円	126,310,192,837円	124,812,874,583円	128,646,370,274円	128,069,417,733円
コール・ローン等	4,717,770,068	3,229,793,677	3,505,136,056	3,588,334,266	3,215,089,198	3,175,895,545
投資信託受益証券(評価額)	109,906,233,669	114,285,079,164	122,804,956,721	121,224,440,267	124,780,538,836	124,593,125,758
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	100,070	100,060	100,060	100,050	100,040	100,030
未収入金	-	-	-	-	650,642,200	300,296,400
(B) 負債	1,084,110,628	983,003,034	1,389,639,324	1,341,888,927	1,449,559,337	1,513,765,509
未払収益分配金	817,473,492	817,405,591	815,782,711	810,864,081	798,982,223	786,082,317
未払解約金	157,385,538	63,355,268	457,427,296	410,303,858	533,609,471	596,334,842
未払信託報酬	108,879,852	101,975,291	116,184,713	120,448,157	116,749,249	131,143,536
未払利息	12,925	9,645	-	8,847	8,808	9,484
その他未払費用	358,821	257,239	244,604	263,984	209,586	195,330
(C) 純資産総額(A-B)	113,539,993,179	116,531,969,867	124,920,553,513	123,470,985,656	127,196,810,937	126,555,652,224
元本	204,368,373,086	204,351,397,764	203,945,677,751	202,716,020,362	199,745,555,793	196,520,579,457
次期繰越損益金	△ 90,828,379,907	△ 87,819,427,897	△ 79,025,124,238	△ 79,245,034,706	△ 72,548,744,856	△ 69,964,927,233
(D) 受益権総口数	204,368,373,086口	204,351,397,764口	203,945,677,751口	202,716,020,362口	199,745,555,793口	196,520,579,457口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,556円	5,703円	6,125円	6,091円	6,368円	6,440円

※当作成期における作成期首元本額206,134,775,683円、作成期中追加設定元本額8,228,895,277円、作成期中一部解約元本額17,843,091,503円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

アジア好利回りリート・ファンド

■ 損益の状況

(自2020年3月13日 至2020年4月13日) (自2020年4月14日 至2020年5月12日) (自2020年5月13日 至2020年6月12日) (自2020年6月13日 至2020年7月13日) (自2020年7月14日 至2020年8月12日) (自2020年8月13日 至2020年9月14日)

項 目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(A) 配 当 等 取 益	461,771,484円	446,202,638円	452,842,438円	444,021,987円	442,909,016円	433,151,300円
受 取 配 当 金	461,880,658	446,469,612	452,959,978	444,205,644	443,065,335	433,335,275
支 払 利 息	△ 109,174	△ 266,974	△ 117,540	△ 183,657	△ 156,319	△ 183,975
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△20,003,023,059	3,473,924,450	9,051,055,057	△ 216,075,871	5,992,724,237	1,880,506,853
売 買 益	409,079,373	3,601,978,524	9,555,216,756	6,103,411	6,767,875,723	2,559,261,757
売 買 損	△20,412,102,432	△ 128,054,074	△ 504,161,699	△ 222,179,282	△ 775,151,486	△ 678,754,904
(C) 信 託 報 酬 等	△ 109,163,090	△ 102,188,200	△ 116,414,710	△ 120,664,340	△ 116,936,856	△ 131,338,866
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△19,650,414,665	3,817,938,888	9,387,482,785	107,281,776	6,318,696,397	2,182,319,287
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 8,915,012,217	△29,250,467,919	△25,988,800,111	△17,164,681,619	△17,498,056,767	△11,708,165,752
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△61,445,479,533	△61,569,493,275	△61,608,024,201	△61,376,770,782	△60,570,402,263	△59,652,998,451
(配 当 等 相 当 額)	(6,565,987,725)	(6,621,961,053)	(6,707,949,689)	(6,766,093,629)	(6,731,981,389)	(6,686,377,331)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△68,011,467,258)	(△68,191,454,328)	(△68,315,973,890)	(△68,142,864,411)	(△67,302,383,652)	(△66,339,375,782)
(G) 計 (D + E + F)	△90,010,906,415	△87,002,022,306	△78,209,341,527	△78,434,170,625	△71,749,762,633	△69,178,844,916
(H) 収 益 分 配 金	△ 817,473,492	△ 817,405,591	△ 815,782,711	△ 810,864,081	△ 798,982,223	△ 786,082,317
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△90,828,379,907	△87,819,427,897	△79,025,124,238	△79,245,034,706	△72,548,744,856	△69,964,927,233
追 加 信 託 差 損 益 金	△61,445,479,533	△61,569,493,275	△61,608,024,201	△61,376,770,782	△60,570,402,263	△59,652,998,451
(配 当 等 相 当 額)	(6,565,987,725)	(6,621,961,053)	(6,707,949,689)	(6,766,093,629)	(6,731,981,389)	(6,686,377,331)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△68,011,467,258)	(△68,191,454,328)	(△68,315,973,890)	(△68,142,864,411)	(△67,302,383,652)	(△66,339,375,782)
分 配 準 備 積 立 金	12,862,641,757	12,423,845,685	11,935,082,880	11,282,718,945	10,694,784,904	10,089,269,203
繰 越 損 益 金	△42,245,542,131	△38,673,780,307	△29,352,182,917	△29,150,982,869	△22,673,127,497	△20,401,197,985

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
(a) 費用控除後の配当等収益	352,608,462円	434,573,690円	447,301,167円	323,357,715円	434,863,827円	408,564,735円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	6,565,987,725	6,621,961,053	6,707,949,689	6,766,093,629	6,731,981,389	6,686,377,331
(d) 分配準備積立金	13,327,506,787	12,806,677,586	12,303,564,424	11,770,225,311	11,058,903,300	10,466,786,785
(e) 分配可能額 (a+b+c+d)	20,246,102,974	19,863,212,329	19,458,815,280	18,859,676,655	18,225,748,516	17,561,728,851
1万口当たり分配可能額	990	972	954	930	912	893
(f) 分配金額	817,473,492	817,405,591	815,782,711	810,864,081	798,982,223	786,082,317
1万口当たり分配金額(税引前)	40	40	40	40	40	40

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)
主要投資対象	日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ※オセアニア地域の取引所に上場している不動産投資信託にも投資を行います。 ・収益の成長性に加え、配当利回り等のバリュエーションに着目した運用を行います。 ・原則として対円での為替ヘッジを行いません。
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは純資産総額の範囲内で行います。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。
決算日	毎年2月の最終営業日
分配方針	毎月28日(休業日の場合は前営業日)に分配を行う方針です。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.7%程度* *年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
管理およびその他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時に0.3%
投資運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
投資助言会社	スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント (シンガポール) プリーティーイー・リミテッド
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)」をシェアクラスとして含む「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2019年3月1日から2020年2月28日まで)

(単位：円)

利益	
受取利息、配当収入、純実現利益および損益を通じて公正価値で測定する 金融資産・負債ならびに外貨換算にかかる未実現評価益の純変動	7,750,355,729
費用	
投資運用報酬	876,060,955
取引費用	260,609,726
管理事務代行報酬	127,427,043
保管報酬	83,370,470
名義書換代行報酬	15,972,487
受託報酬	15,928,377
専門家報酬	5,523,711
登録手数料	398,320
支払利息	35,341
費用合計	<u>1,385,326,430</u>
営業利益	<u>6,365,029,299</u>
税引前利益	6,365,029,299
源泉徴収税	<u>(505,000,594)</u>
営業による償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の増加	<u>5,860,028,705</u>

アジア好利回りリート・ファンド

■ 投資明細表(2020年2月28日現在)

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	普通株式 (96.2%)		
	オーストラリア (35.9%)		
	不動産投資信託 (35.9%)		
7,960,000	Charter Hall Group	4.8	6,908,750,448
8,654,595	Charter Hall Long Wale REIT Class REIT	2.3	3,346,519,760
7,681,389	Charter Hall Social Infrastructure REIT	1.3	1,837,680,701
5,735,991	Dexus	3.4	4,850,805,807
12,407,332	Goodman Group	9.0	12,925,938,028
7,750,000	GPT Group	2.2	3,115,310,893
30,387,832	Mirvac Group Class REIT	4.5	6,424,586,089
13,540,655	Rural Funds Group	1.3	1,817,476,627
20,970,503	Scentre Group	3.5	5,046,110,995
16,082,598	Stockland	3.7	5,268,038,816
			51,541,218,164
	オーストラリア合計		51,541,218,164
	香港 (9.2%)		
	不動産投資信託 (9.2%)		
2,351,000	Fortune Real Estate Investment Trust	0.2	272,364,915
12,123,500	Link REIT	8.4	12,115,414,837
11,850,000	Sunlight Real Estate Investment Trust	0.5	757,763,009
			13,145,542,761
	香港合計		13,145,542,761
	マレーシア (1.4%)		
	不動産投資信託 (1.4%)		

アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
42,850,200	Sunway Real Estate Investment Trust Class REIT	1.4	2,083,480,172
	マレーシア合計		<u>2,083,480,172</u>
	ニュージーランド (0.6%)		
	不動産投資信託 (0.6%)		
5,418,404	Goodman Property Trust	0.6	841,020,507
	ニュージーランド合計		<u>841,020,507</u>
	シンガポール (47.5%)		
	不動産投資信託 (47.5%)		
23,903,700	Ascendas India Trust	2.1	3,048,158,330
19,300,984	Ascendas Real Estate Investment Trust	3.2	4,564,459,155
36,033,902	CapitaLand Commercial Trust, Ltd.	3.6	5,179,796,350
36,012,800	CapitaLand Mall Trust	4.4	6,317,877,403
24,562,700	CapitaLand Retail China Trust	1.9	2,676,601,177
25,210,502	ESR-REIT	0.7	1,032,632,551
17,025,278	Frasers Centrepoint Trust Class REIT	2.6	3,671,020,953
13,911,100	Frasers Logistics & Industrial Trust Class REIT	0.9	1,333,127,250
54,786,538	Keppel DC REIT Class REIT	6.8	9,823,139,029
13,862,200	Keppel REIT	0.9	1,317,727,835
21,100,000	Lendlease Global Commercial REIT	1.0	1,402,391,770
30,567,433	Mapletree Commercial Trust	3.4	4,960,971,266
31,935,300	Mapletree Industrial Trust	4.6	6,614,457,681
85,952,420	Mapletree Logistics Trust	8.6	12,289,049,262
2,267,500	Parkway Life Real Estate Investment Trust	0.4	601,076,659
18,400,000	Sasseur Real Estate Investment Trust	0.8	1,123,397,265
17,050,000	Suntec Real Estate Investment Trust	1.6	2,240,070,840
			<u>68,195,954,776</u>

アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	シンガポール合計		68,195,954,776
	タイ (1.6%)		
	不動産投資信託 (1.6%)		
19,300,000	Frasers Property Thailand Industrial Freehold & Leasehold REIT	0.7	1,048,978,972
18,916,000	IMPACT Growth Real Estate Investment Trust	0.9	1,306,149,907
	タイ合計		2,355,128,879
	普通株式合計 (取得原価：125,913,170,991円)		138,162,345,259
損益を通じて公正価値で測定する金融資産合計		純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	普通株式合計	96.2	138,162,345,259
	負債を超過する現金およびその他の資産	3.8	5,489,270,586
	純資産	100.0%	143,651,615,845

マネー・マーケット・マザーファンド

第9期 (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		
5期 (2016年3月1日)	10,039	0.0	84.3	93
6期 (2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

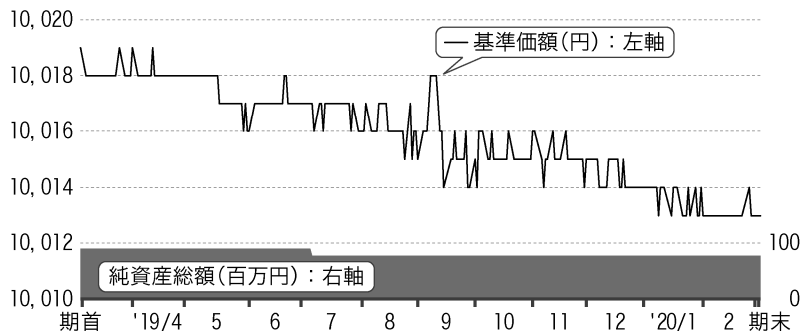
年月日	基準価額		債券組入率
	円	騰落率	
(期首) 2019年3月1日	10,019	—	74.1
3月末	10,019	0.0	74.1
4月末	10,018	△0.0	74.0
5月末	10,016	△0.0	75.3
6月末	10,017	△0.0	75.2
7月末	10,016	△0.0	87.2
8月末	10,015	△0.0	84.8
9月末	10,015	△0.0	84.7
10月末	10,016	△0.0	84.6
11月末	10,015	△0.0	84.5
12月末	10,014	△0.0	80.8
2020年1月末	10,013	△0.1	80.7
2月末	10,013	△0.1	80.7
(期末) 2020年3月2日	10,013	△0.1	80.6

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

基準価額等の推移



期首	10,019円
期末	10,013円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の主な変動要因 (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

当期の短期金利は小幅に低下しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利の付利を継続しました。短期国債利回りは、一時的な需給要因から上下に振れる局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案しながら短期国債の買入れ額を調整したことから、概ねレンジ推移となりました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀当座預金付利金利である-0.10%程度を上限に、マイナ

ス圏で推移しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.180%に対し、期末は-0.199%と小幅に低下しました。

▶ **ポートフォリオについて(2019年3月2日から2020年3月2日まで)**

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ **ベンチマークとの差異について(2019年3月2日から2020年3月2日まで)**

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

② 今後の運用方針

2%の物価安定目標が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.007% (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は10,015円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特殊債券	千円 45,559	千円 － (49,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
			%			%
公社債	百万円 45	百万円 17	% 37.8	百万円 －	百万円 －	% －

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMBC日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年3月2日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	62,000 (62,000)	62,289 (62,289)	80.6 (80.6)	— (—)	— (—)	— (—)	80.6 (80.6)
合 計	62,000 (62,000)	62,289 (62,289)	80.6 (80.6)	— (—)	— (—)	— (—)	80.6 (80.6)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	17,000	17,010	2020/3/18
	第107回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	17,000	17,056	2020/5/29
	第115回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	14,000	14,075	2020/8/31
	第124回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	14,000	14,147	2020/12/28
	合 計	—	62,000	62,289	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年3月2日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	62,289	80.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	14,950	19.4
投 資 信 託 財 産 総 額	77,239	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月2日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	77,239,206円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	14,699,258
公 社 債 (評 価 額)	62,289,630
未 収 利 息	213,957
前 払 費 用	36,361
(B) 負 債	195
そ の 他 未 払 費 用	195
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	77,239,011
元 本	77,141,454
次 期 繰 越 損 益 金	97,557
(D) 受 益 権 総 口 数	77,141,454口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,013円

※当期における期首元本額89,650,363円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額12,508,909円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジあり)	209,527円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジなし)	179,593円
日興エドモン・ドゥ・ロスタヤルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスタヤルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年3月2日 至2020年3月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	810,106円
受 取 利 息	820,497
支 払 利 息	△ 10,391
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 851,460
売	△ 851,460
買	△ 851,460
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,757
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 47,111
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	165,922
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 21,254
(G) 計 (D + E + F)	97,557
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	97,557

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、所要の変更を行いました。(適用日：2019年4月1日)